



俵さん（左）や脚本家の金沢知樹さん（右）から祝福を受ける浜本さん（23日、長崎県佐世保市で）

県立広大・浜本さん準V

全国大会「異常アノマリー」紹介



長崎県佐世保市で23日に行われた大学の書評合戦

「全国大学ピリオドバトルinながさきピース文化祭2025」（文化庁、長崎県、活字文化推進会議など主催、読売新聞社主管）で、県立広島大地域創生学部4年の浜本菜美さん（22）が紹介した「異常 アノマリー」（エルヴェ・ル・テリエ著、

加藤かおり訳、早川書房）が準グランドチャンプ本に選ばれた。

フランスからアメリカへ向かう旅客機に乗り合わせ

た弁護士や殺し屋、歌手ら様々な職業や年齢の乗客たちが、異常な出来事を経験していく。家族旅行中に新大阪駅構内の書店に立ち寄った際、真っ赤な表紙と切れ味のいいタイトルにひかれて、思わず手に取ったという。「読み終わったとき、自分の人生について考えさせられました」と発表を締めくくり、聴衆の好奇心をそそった。

閉会式で、ゲストの歌人俵万智さんから、トロフィーと副賞として長崎和牛の目録などを贈られた。浜本さんは「自分が伝えなかつ

た作品の魅力を出し切るこ
とができました」と、さわ
やかな笑顔を見せた。